

銘柄紹介

バルニバービ [3418・100 株] 10月28日 東証マザーズ市場上場

2015年10月13日(火)

更新: 20時33分

株式会社フィスコ

レストラン運営のマザーズ上場案件

投資スタンスと初値メド

ブックビルディング参加	——
初値投資	——
初値メド	——

市場の注目度	★★★
想定仮条件レンジ	2300円～2400円
予想PER	14.8倍(連)～15.5倍(連)
予想トレーディングレンジ 期間: 上場後1年を想定	2300円～5000円
予想PER	14.8倍(連)～32.2倍(連)

※★印は5段階評価

日程

仮条件提示	10月9日
ブックビルディング期間	10月13日～10月19日
公開価格決定	10月20日
申込期間	10月21日～10月26日
払込日	10月27日
上場日	10月28日

類似会社 3社

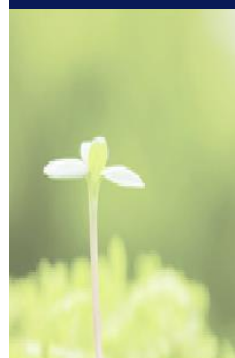
平均PER	59.3倍	→	9,205円
WDK<3068>	54.8倍(連)	→	8,506円
クワイートRH<3387>	22.0倍(連)	→	3,415円
グローバルD<7625>	101.2倍(連)	→	15,708円

(PERは10月7日終値の会社側予想ベース)

飲食店の経営・運営企画、遊休施設の再開発、商業施設全般の企画開発を手掛ける。レストラン事業では、各店舗の状況に合わせ創意工夫した運営を行っており、「ガーブ」など複数のブランドで関東地区に18店舗、関西地区に15店舗の計33店舗(2015年4月末時点)を展開している。

マザーズ上場の高成長外食株として評価を受けそうだが、外食関連IPOの初値は知名度や上場時の市況の影響を受けやすい。公開規模がマザーズ案件としては中程度で、やや荷持たれ感が台頭しやすいうえ、日本郵政グループ3社の上場を前に需給的には非常に厳しい時期であり、初値の伸びは抑えられるだろう。

株主構成上は比較的需給良好だが、日本郵政グループ3社のIPOにおける売出株の入金終了した後の上場となるため注意する必要がある。



銘柄紹介

バルニバービ [3418・100 株] 10月28日 東証マザーズ市場上場

2015年10月13日(火)
更新: 20時33分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2011/7	3,030	—	32	—	▲ 20	—
2012/7	3,640	20.1%	88	166.8%	36	—
2013/7	4,782	31.4%	206	134.1%	112	207.1%
2014/7	5,114	7.0%	198	-3.5%	148	31.3%
2015/7	-	—	-	—	-	—

連結業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2013/7	5,185	—	274	—	119	—
2014/7	5,950	14.7%	251	-8.4%	168	41.0%
2015/7	6,642	11.6%	480	90.5%	295	74.8%
2016/7 予	8,551	28.7%	557	16.0%	322	9.2%
予想 EPS/配当		単独: -円 連結: 155.22 円(上場時発行済株式数で試算) / 0.00 円				

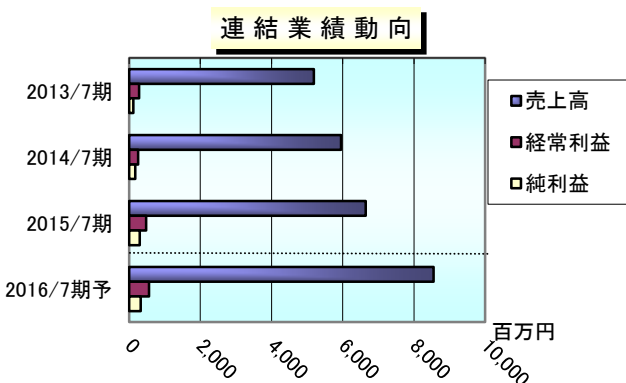
業績コメント

2016年7月期の業績は、売上高が前期比 28.7%増の 85.5 億円、経常利益が同 16.0%増の 5.5 億円と増収増益の見通しとなっている。

なお、2016年7月期の新規出店店舗による売上高は、9.7 億円 (前期比 108.3%増)、新規出店店舗以外による売上高は、75.7 億円を予想している。

足元の外食業界は、高付加価値業態を中心に回復傾向が見られる反面、インフレや消費税増税の影響、人手不足、競合企業との競争激化など、引き続き厳しい状況で推移している。

しかし、同社は主力のレストラン事業で展開するデザイン性の高いカジュアルレストランや、食に対する健康志向を背景としたアスリート食堂など、顧客ニーズを汲み取ることで堅調な推移を見込んでいる。16.7 期の新規出店は、レストラン事業 11 店舗、スイーツ事業 3 店舗、アスリート食堂事業 3 店舗を計画している。このうち、現時点で既に 11 店舗の出店が決定している (2015年7月末現在は 58 店舗を展開)。



銘柄紹介

バルニバービ [3418・100 株] 10月28日 東証マザーズ市場上場

2015年10月13日(火)

更新：20時33分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

基本概要

所在地	大阪府大阪市中央区南船場四丁目（最寄りの連絡場所）大阪府大阪市西区南堀江一丁目
代表者名(生年月日)	代表取締役社長 佐藤 裕久(昭和36年8月18日生)
設立	平成3年9月7日
資本金	9900万円(平成27年9月24日現在)
従業員数	新規上場会社41人 連結会社413人 (平成27年8月31日現在)
発行済株式数(上場時)	2,074,500株(予定)
公開株式数	公募255,000株 売出238,000株 (オーバーアロットメントによる売出73,900株)
想定公開規模	13.0億円～13.6億円(OA含む)
事業内容	飲食店の経営・運営企画、遊休施設の再開発、商業施設全般の企画開発

売上高構成比率（2014/7期実績）

品目	金額	比率
レストラン事業	5,447 百万円	91.6 %
スイーツ事業	458 百万円	7.7 %
アスリート食堂事業	27 百万円	0.5 %
その他	15 百万円	0.2 %
合計	5,950 百万円	100.0 %

幹事証券団（予定）

	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	SMBC日興証券(株)	未定	未定
幹事証券	大和証券(株)	未定	未定
幹事証券	みずほ証券(株)	未定	未定
幹事証券	(株)SBI証券	未定	未定
幹事証券	岩井コスモ証券(株)	未定	未定
幹事証券	エース証券(株)	未定	未定
幹事証券	マネックス証券(株)	未定	未定

銘柄紹介

バルニバービ [3418・100 株] 10月28日 東証マザーズ市場上場

2015年10月13日(火)
更新：20時33分
株式会社フィスコ

大株主上位 10 位

順位	株主名	保有株数	保有シェア
1	佐藤 裕久	976,000 株	49.97 %
2	株式会社HUMO	710,000 株	36.35 %
3	中島 邦子	37,500 株	1.92 %
4	安藤 文豪	25,000 株	1.28 %
5	佐藤 隆子	20,000 株	1.02 %
6	辻元 拓士	12,500 株	0.64 %
6	田中 亮平	12,500 株	0.64 %
8	バルニバービ従業員持株会	7,000 株	0.36 %
9	上山 英介	5,000 株	0.26 %
10	北尾 志津	4,500 株	0.23 %
10	有限会社黒門中川	4,500 株	0.23 %
合計		1,814,500 株	92.90 %

その他情報

手取金の使途	新規出店する店舗の設備投資資金として充当する予定	
関係会社	(株)バルニバービインターフェイス (連結子会社) 飲食店の運営受託及び経営 (株)ワナビ (連結子会社) 飲食店の運営受託及び経営 (株)パティスリードパラディ (連結子会社) スイーツの製造・販売 バルニバービ・スピリッツ&カンパニー(株) (連結子会社) 飲食店の運営受託 バルニバービアーツ(株) (連結子会社) 資産の管理 (株)アスリート食堂 (連結子会社) 飲食店の経営 (株)バルニバービコンシスタンス (連結子会社)	
VC 売却可能分(推定)	-社 -株(売出し・保有期間などの制限があるもの以外)	
直近有償第三者割当	年月日	-
	割当先	-
	発行価格	-

銘柄紹介

バルニバービ [3418・100 株] 10月28日 東証マザーズ市場上場

2015年10月13日(火)
更新：20時33分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

銘柄紹介

同社と連結子会社 7 社及び非連結子会社 3 社でグループが構成される。事業内容は、(1) レストラン事業 (同社が企画開発・デザインしたレストランやカフェ、バーなどを店舗運営子会社にて運営)、(2) スイーツ事業 (株式会社パティスリードパラディにてロールケーキなどスイーツを提供)、(3) アスリート食堂事業 (株式会社アスリート食堂にて、健康志向の顧客層に対して食事とランニングステーションなどのアスリート施設を提供)、及び (4) その他の事業 (レストランや開発エリアの企画・コンサルティングを提供) を展開する。

(1) レストラン事業

同社グループのレストラン事業の特徴は、チェーン店のように既定業態を多店舗展開するのではなく、同社の企画本部によるメニューコンセプトプランニング、空間デザインワーク、グラフィックやアートディレクション等により、求められているレストランを求められている場所に一店舗ずつ出店し、店舗運営子会社にてマニュアルではなく各店舗の状況に合わせたきめ細かいメニュー、サービス、イベントなどを創意工夫した運営が行われている点に特徴がある。

強みは、一般的なレストランの立地としては店前通行量が少ない等の理由で好立地とはいえない「バッドロケーション」に着目して出店し、その街を活性化することで事業展開を行ってきたことにある。バッドロケーションではあるものの、人々をほっとさせるような街並みや水辺・公園などの周辺環境に恵まれた場所を選定している。さらに、これらの実績によって、不動産デベロッパー、商業施設、行政機関、大学などから、キーテナント企業として要請

され、出店している。同社グループにとって適した立地を、初期負担や月額家賃の軽減等の有利な賃貸条件で獲得しており、これが同社の競争力の源泉となっている。また、ブランド力のある海外の飲食企業とのライセンス契約に基づき、ナポリのピッツェリア「アンティーカ ピッツェリア ダミケーレ」及びシンガポールチキンライス「ウィーナムキー ハイナンチキンライス」を展開している。

(2) スイーツ事業

ロールケーキ専門店「アリンコ」、スイーツテイクアウトショップ「パラディ」、クレープショップ「トーキョークレープガール」などのブランドで、主にスイーツショップを運営している。

(3) アスリート食堂事業

鹿児島県鹿屋市、国立大学法人鹿屋体育大学との産官学連携プロジェクトとして、アスリートに代表される健康を志向する顧客層に対して、健康食堂「鹿屋アスリート食堂」、アスリート施設「ランキューブ」などの運営を行っている。

(4) その他の事業

企業や行政機関に対して、エリア開発コンセプトの立案、レストラン企画・開発その他のコンサルティングを提供している。

バルニバービ [3418・100 株] 10月28日 東証マザーズ市場上場

2015年10月13日(火)
更新: 20時33分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

投資のポイント

マザーズ上場の高成長外食株として評価を受けそうだが、外食関連 IPO の初値は知名度や上場時の市況の影響を受けやすい。直近の外食関連のマザーズ上場案件では、4/17 上場の海帆<3133> (公開規模 7.0 億円) が公開価格比 76.5% 高の初値となる一方、3/19 上場のヒューマンウェブ<3224> (公開規模 7.9 億円) は同 11.7% 高にとどまった。同社は公開規模がマザーズ案件としては中程度で、やや荷持たれ感が台頭しやすい。さらに、日本郵政グループ 3 社の上場を前に需給的には非常に厳しい時期で、初値の伸びは抑えられるだろう。

同社は、主力のレストラン事業のほか、スイーツ事業、アスリート食堂事業、その他事業を手掛ける。レストラン事業では、既定の業態を多店舗展開するのではなく、各店舗の状況に合わせて創意工夫した運営を行っている。「ガーブ」など複数のブランドで、関東地区に 18 店舗、関西地区に 15 店舗の計 33 店舗 (2015 年 4 月末時点) を展開している。独自の立地開発による出店、商業施設・エリアへの出店、行政機関等との連携プロジェクトによる出店や大学内レストラン、海外飲食ブランドとのライセンス契約に基づく店舗などがある。

業績面について、2016 年 7 月期は売上高が前期比 28.7% 増の 85.5 億円、経常利益が同 16.0% 増の 5.5 億円と増収増益の見通しとなっている。類似企業のバリュエーションにはバラつきがあるものの、同社の仮条件水準での今期予想 PER は 15 倍前後で割安感がある。

ベンチャーキャピタル保有株は確認されず、佐藤社長とその資産管理会社が発行済株式の 8 割超を保有するなど、株主構成上は比較的需給良好と言える。ただ、日本郵政グループ 3 社の IPO における売出株の入金が終了した後での上場となるため、こうした資金が凍結されている時期であるという特殊要因には注意する必要がある。

銘柄紹介

バルニバービ [3418・100 株] 10月28日 東証マザーズ市場上場

2015年10月13日(火)
更新: 20時33分
株式会社フィスコ

投資スタンスの見方

Aggressive (アグレッシブ)	積極的参加	投資収益率 100%以上が見込まれる案件
Active (アクティブ)	やや積極的参加	投資収益率 50%以上が見込まれる案件
Passive+ (パッシブ・プラス)	やや消極的参加	投資収益率 20~50%未満が見込まれる案件
Passive- (パッシブ・マイナス)	消極的参加	投資収益率 0~20%未満であり、マイナスの可能性のある案件
Negative (ネガティブ)	参加見送り	投資収益率がマイナスになる可能性が予想される案件

《 重要事項(ディスクレーム) 》

株式会社フィスコ(以下[フィスコ]という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものではありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少する事もあり、価値を失う場合があります。

本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大する事を保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ



■ 本資料のご留意事項

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料は、SBI証券が、株式会社フィスコが信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。本資料の著作権、知的所有権等一切の権利は株式会社フィスコに帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

■ 手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券 WEB サイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

■ 国内株式取引のリスク情報について

・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

■ 留意点

・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト（http://search.sbisecc.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kaiji.html）をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。
・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の支店までお問い合わせください。
・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書は当該銘柄の取扱証券会社のホームページ等で入手いただけます。

商号等： 株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号： 関東財務局長（金商）第44号
加入協会： 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会